

## 記者発表資料

平成30年3月19日  
矢作川流域圏懇談会事務局  
国土交通省豊橋河川事務所

**流域は一つ、山・川・海、調和のとれた  
矢作川流域圏の発展を目指し、様々な活動を展開**

～矢作川流域圏懇談会 第7回全体会議を開催します～

## 1. 概要

矢作川流域圏懇談会は8年目を迎え、山・川・海の参加者が主体となり多くの課題解決に向けた活動を展開しています。

山部会では、矢作川の山の課題を「人と地域の問題」と「森の問題」の2点に絞り、4つのテーマ（・山村再生担い手づくり事例集・山村ミーティング・森づくりガイドライン・木づかいガイドライン）について検討、実行を行っています。

川部会では、「生き物の棲みやすい川づくり（上下流問題）」と「地先の課題」を課題とし、本川モデル、支川（家下川）モデル、地先モデルを選定し検討、実行を行っています。

海部会では、「ごみ・流木の問題」「豊かな海の生物調査」「海と人の絆再生」「干潟・ヨシ原再生」の課題について、検討、実行を行っています。

今回の全体会議では、各部会の平成29年度のとりくみの報告と今後の方針の決定を行います。

2. 日時：平成30年3月20日（火）14時30分～16時30分  
開場は、14時00分から

3. 場所：愛知県西三河総合庁舎 10F大会議室  
住所：岡崎市明大寺本町1-4  
電話：0564-23-1211（代表）  
（名鉄東岡崎駅から徒歩5分）  
車でお越しの方は、庁舎棟東隣に駐車場があります。  
駐車場棟の入口は北側にありますので、ご注意ください。

## 4. 添付資料

- ・矢作川流域圏懇談会パンフレット
- ・山部会、川部会、海部会の活動進捗報告

## 5. 配布先

豊田市政記者クラブ、豊田市政記者東クラブ  
岡崎市政記者会、岡崎新聞記者会  
恵那記者会、岐阜県政記者クラブ、飯田市記者クラブ

## 6. 問い合わせ先

事務局：国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 松山康忠  
電話：(0532)48-8107 FAX：(0532)48-8100

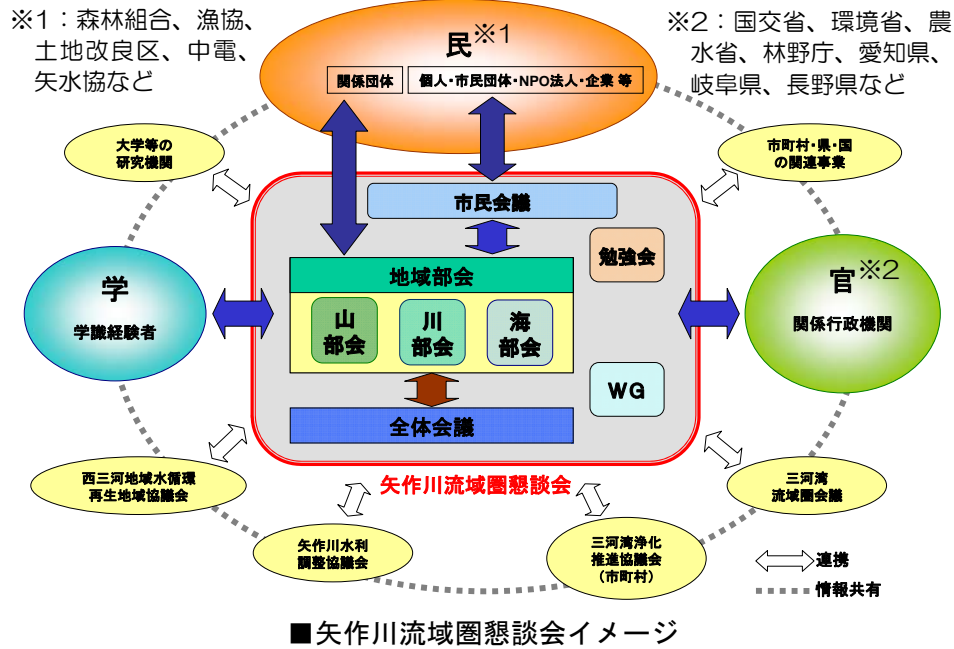
# 水と人がつなぐ山・川・海 皆で取り組む流域一体の川づくり



国土交通省 中部地方整備局 豊橋河川事務所 矢作川流域圏懇談会

## ■矢作川流域圏懇談会とは

- ◆目的：河川整備計画に基づき、河川管理者だけでは解決できない課題に対し流域一体となって取り組み、互いに連携し、いい川づくりと調和のとれた流域圏全体の発展につなげる。
- ◆メンバー：個人・市民団体、関係団体、学識経験者、国・県・市町村など100名以上
- ◆活動内容：市民が中心となり、矢作川を学び、意見交換を行うことを通じて、流域圏の課題を自分たちで提案し、その解決に向けた、流域圏一体の取り組みを行っている。



■矢作川流域圏懇談会イメージ



■活動範囲

## ■市民が中心となって、流域圏の課題に取り組み、悩んでいます

- 【全体】**
- 〈これまでの主な活動〉
- ・市民企画会議 (WG)
  - ・市民会議
  - ・市民提案による勉強会 (森の健診、生き物調査、河川事業の勉強など)
  - ・全体会議

各部会での活動の情報交換や流域圏一体化に向けた議論、市民提案による勉強会等の活動を行っている。



- 【山部会】**
- 〈これまでの主な活動〉
- ・山村再生担い手づくり事例集の作成
  - ・矢作川流域山村ミーティング
  - ・森づくり、木づかいガイドラインの検討

検討テーマである「人と地域の問題」、「森の問題」を解決するため、事例集、ガイドライン作成に向けて活動している。



- 【川部会】**
- 〈これまでの主な活動〉
- ・矢作川の瀬・淵調査と保全・創出方法の検討
  - ・家下川(支川)の段差解消・水源確保の検討
  - ・川の活動情報の共有
  - ・河川事業のチェック

「魚の棲みやすい川づくり(上下流問題)」「地先の課題」をテーマに、モデル地区での検討を進めている。



- 【海部会】**
- 〈これまでの主な活動〉
- ・ごみ・流木調査
  - ・干潟生き物調査
  - ・三河湾内水質調査
  - ・海へのアクセス調査

「親しみやすい豊かな海」の実現を目標に、ごみ・流木問題、絆再生、干潟・ヨシ原再生をテーマに活動している。



## ■活動のポイント

### 〈活動や事業の発想・視点の先進性やユニークさ〉

川づくりの源である山、川づくりを写す海を加え、川づくりを流域圏という単位で進め、それぞれの地域で川に係る多くの市民、企業、学識者、行政が連携・協働して河川管理者だけでは“絶対”解決出来ない多様な課題への取り組みや情報共有・意見交換を山・川・海部会が毎月2回以上のペースで進めています。



### 〈工夫した計画手法や技術〉

- ・河川工事の実施に際して、魚、鳥などの生物、植物など詳しい市民、専門家などとともに現地調査・意見交換を行いながらより良い川づくりを行いました。
- ・ごみ・流木調査や流域圏として統一性のある森林管理、矢作川の恵みが中下流や海まで行き届く取り組みを進めています。
- ・2年目から、市民企画会議を新設し、市民主導の運営となりました。



着手前



竣工時



## 矢作川流域圏懇談会の活動進捗

# 1. 山部会 平成 29 年度の活動成果 まとめ

## 流域圏担い手づくり事例集

### 【成果①】

- ・これまでに作成した山村再生担い手づくり事例集の取材先の団体と取材者を対象とした交流会を4月に行った。新たな発想の展開や人間関係を育む場として、大変有意義なイベントになった。



事例集交流会の様子

### 【成果②】

- ・山村から流域に視野を広げるため、川部会のテーマである地先モデルと協働して、流域の発展に寄与する団体の取材を行うことになった。それに伴い、テーマの名称も「山村再生担い手づくり事例集」から「流域圏担い手づくり事例集」に変更した。



川部会における意見交換

### 【成果③】

- ・流域圏担い手づくり事例集を作成するため、山に関係する12団体、川に関係する9団体、合計21団体を訪問し、レポートの作成を行った。

### 【成果④】

- ・事例集作成に関わった取材先と取材者を中心とした交流会を平成30年4月14日（土）～15日（日）に佐久島で実施することになった。

## 山村ミーティング

### 【成果①】

- ・流域の山の担い手の現状を把握するため、根羽村森林組合、恵南森林組合、豊田森林組合、岡崎森林組合の作業班を中心とした100人ヒヤリングを開始した。



ヒヤリング時の作業風景（恵那市）

### 【成果②】

- ・矢作川感謝祭について、秋の流域全体の恒例行事化にむけて実行委員会を立ち上げ、意見交換の場を拡大した。

### 【成果③】

- ・足助もみじまつりに代わるイベントの開催については、懇談会メンバーも主催者に加われるよう関係団体（豊田森林組合など）に働きかけた。



矢作川感謝祭の開催状況（豊田市）

## 森づくりガイドライン

### 【成果①】

- ・豊田市の森づくり構想の見直しに関して、①保全に対するルール ②地域材利用の強化 ③人材の確保・育成・活用について情報共有と意見交換を行った。

### 【成果②】

- ・岡崎市の水環境創造プランのうち水量に関する施策の見直しの進捗状況、緑のダム部会の答申をうけた動き、岡崎市環境政策課内の森林企画係の新設について情報共有と意見交換を行った。

### 【成果③】

- ・森づくりガイドラインの策定に向けて、素案が提示され、内容に関しての意見交換を行った。

### 【成果④】

- ・矢作川流域市村における 2005 年度以降の間伐面積の推移について情報共有を行い、各地域の実状について意見交換を行った。

### 【成果⑤】

- ・森づくりに関するフィールドワークを行った（信州大学研究フィールド、根羽村の帯状間伐の実施箇所 など）。



森づくりに関する意見交換の様子



フィールドワークの状況

## 木づかいガイドライン

### 【成果①】

- ・木づかいガイドライン策定に向けて、「さあ~しよう」という提案型の原稿作成のための依頼書について、流域圏担い手づくり事例集の団体を対象にするなど、他のテーマとの連携を視野に入れ、意見交換を行った。

### 【成果②】

- ・根羽村森林組合では、木づかいに関するイベントを年間40箇所程度開催した。特に、9月2日に豊田市で開催された矢作川感謝祭では、木づかい推進とともに矢作川流域圏懇談会をPRすることができた。

### 【成果③】

- ・木づかいに関する流域市民のツールとして、昨年度の「流域ものさし」に加え、「どこでもライブラリー（根羽スギを使った本箱）」を展開した。

### 【成果④】

- ・岡崎市や豊田市において、地元産材の活用事例や活用目標について、情報共有と意見交換を行った

### 【成果⑤】

- ・木づかいに関するフィールドワーク（やまおか木の駅、天竜峡舟下り、ちんちゃん亭 ほか）を行った。



木づかいに関する意見交換の様子



根羽スギを使った本箱づくり

## 2. 川部会 平成 29 年度の活動成果 まとめ

### 本川モデル

- ・加茂川水門下流に生じた段差解消対策として平成 28 年度に整備した堰上げ式の魚道の現状確認と今後の改良対策について意見交換を行った。
- ・矢作古川分派施設の整備状況と矢作古川に整備された魚道について現地視察を行い、本川と支川の連続性確保の観点から意見交換を行った。
- ・矢作川総合土砂管理における給砂実験の概要について情報共有を行った。
- ・久澄橋下流で実施されている河道内に堆積した土砂の掘削と樹木伐採状況について現地視察を行った。
- ・矢作川研究所がアユの生息環境復元を目的として取り組んでいる阿摺ダム下流の実験状況（河床環境の改善）について現地視察を行った。



加茂川堰上げ式魚道の視察



阿摺ダム下流の実験現場の視察

### 家下川モデル

- ・愛知県豊田加茂農林水産事務所との意見交換、今年度取り組んでいる工事状況を視察し、川部会が要望した配慮事項について適切に対応されていることを確認した。
- ・ひょうたん池周辺の段差解消には樋門管理者である豊田市との協議が必要であることを確認した。
- ・新設コンクリート構造物のアルカリ対策、魚の滞留場所対策が反映された計画であることを確認した。



家下川新排水機場の工事現地視察

### 地先モデル

- ・流域連携の一環として、山部会が取り組む「山村再生担い手づくり事例集」について、洲崎さんからご紹介いただき、今年度の事例集作成活動に川部会会員有志が参加した。
- ・事例集の取材対象に川関係団体を取り上げてもらった。
- ・矢作川研究所の吉橋さんを招き、人と人の関係性を気づく「聞き書き」「問わず語り」について勉強した。
- ・豊田市が進める矢作川水辺まちづくり計画について情報共有を行った。



山部会 WG 作成の事例集紹介

### 3. 海部会 平成 29 年度の活動成果 まとめ

#### ごみ・流木の問題

- ・22 世紀奈佐の浜プロジェクト委員会主催の「藤前干潟エクスカージョン」に参加し、藤前干潟の清掃活動やごみ焼却場「南陽工場」を見学した。



藤前干潟エクスカージョンへの参加

#### 豊かな海の生物調査

- ・鈴木副座長から、海の栄養塩の問題に関する最近の話題として、流入負荷削減と海の水産資源の関係性について話題提供をいただいた。
- ・井上委員から八郎潟（秋田県）や油が淵（愛知県）での水質浄化に関する研究事例と水質浄化対策の技術的課題について話題提供をいただいた。
- ・高橋委員から鳥と海の環境の関係について話題提供をいただいた。



鈴木副座長による海の話提供

#### 海と人の絆再生

- ・愛知県主催の三河湾大感謝に参加予定であったが、天候不良のため中止となった。

#### 干潟・ヨシ原再生

- ・矢作ダム堆積土砂を投入した東幡豆の干潟造成箇所の現地視察を行った。
- ・干潟造成箇所のモニタリング調査結果の中間報告について情報共有を行った。



東幡豆造成干潟の現地視察